

浸水対策で災害に強い工業用水道を実現 (広島県東広島市)

事業者：広島県企業局



浸水対策（水密化）を実施した田口浄水場管理棟（ポンプ棟）



対策名：No.117 工業用水道に関する緊急対策

事業名：太田川東部工業用水道第二期事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策により田口浄水場の浸水対策（水密化）を実施
 - 被災による給水停止が回避され、安定した工業用水の給水を実現

地域の概要・課題

田口浄水場は、東広島市を中心とした広島中央テクノポリス地域における工業用水を給水するために、整備された施設です。現在、自動車や半導体などの7事業所に工業用水を1日に約3万 m^3 （R3.1時点）給水しています。

平成30年7月豪雨では、隣接する黒瀬川が氾濫し周辺は1.3m程度浸水しましたが、高さ1.5mのコンクリート壁により浄水場内への浸水は免れました。

事業の概要

広島県では、平成30年7月豪雨により、県営水道施設の水没などの被害が発生し、大規模な断水が発生したことから、水道施設の強靱化に取り組んでいます。

田口浄水場では、浸水危機に直面したことを踏まえ、その対策として、管理棟（ポンプ棟）の水密化工事を実施しています。2020年度中に工事完了の予定です。

- ・管理棟の扉、シャッターを水密性のものに取替
- ・浸水圧に耐えられるように壁の補強 など

【見込まれる効果】

平成30年7月豪雨では、24時間雨量302mm、時間最大雨量51mmを観測しました。

今後は、この観測値を超える雨量により河川の氾濫が発生したとしても、7事業所への工業用水の安定的な給水を確保できます。

【田口浄水場給水先】

- 吉川工業団地：4事業所
- 中核工業団地：2事業所
- 高屋東工業団地：1事業所